



07 王子駅前まちづくり整備計画

07 王子駅前まちづくり整備計画

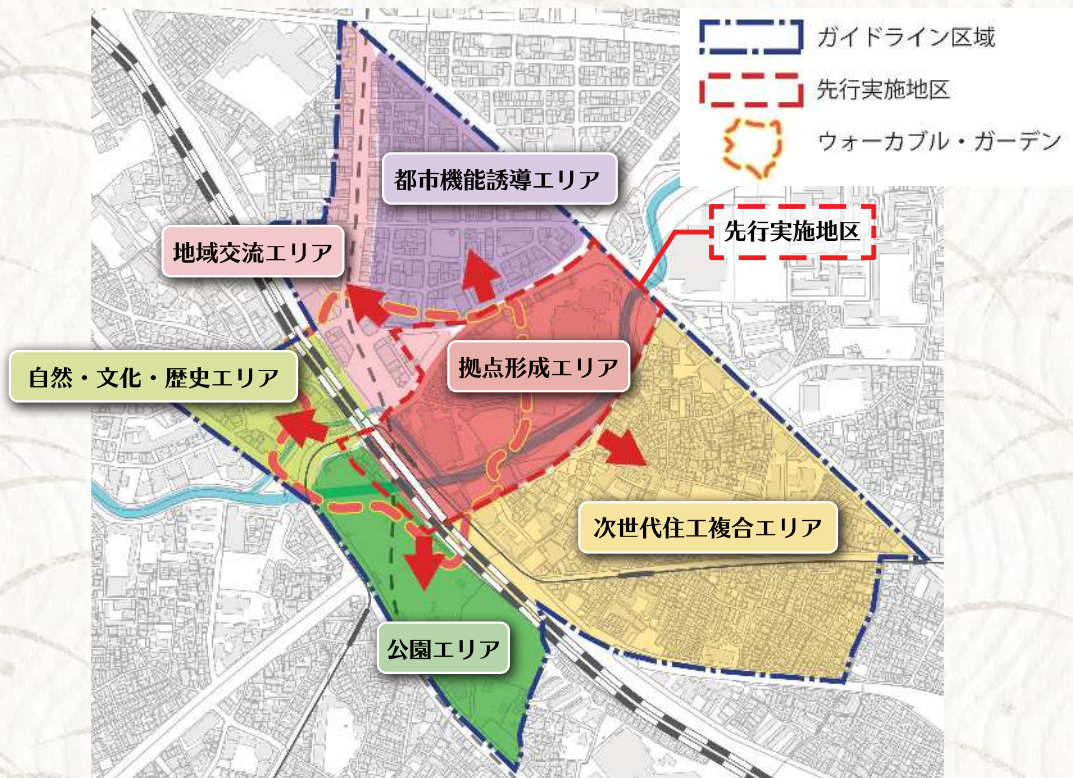
7.1 まちづくりの方向性

(1) 先行実施地区の位置づけ

拠点形成エリアは、印刷局工場用地の一部を北区新庁舎建設予定地として決定しており、現在、土地譲渡に向けた印刷局王子工場の建替えなど、大規模な土地利用転換が予定され、開発ポテンシャルの高い区域です。また、新庁舎建設に合わせて、飛鳥山公園の Park-PFI 事業や JR 王子駅の改良検討など、隣接する箇所でも様々なまちづくりが進みつつあります。

これらの動きを踏まえ、王子駅前に活力とにぎわいの拠点形成を図るため、拠点形成エリア及び隣接する箇所を「先行実施地区」として位置づけます。先行実施地区の整備計画を策定し、新庁舎建設を重要な核となる事業の一つとして位置付けるとともに、エリア間をつなぐ新たな基盤整備とあわせて多様な機能集積を誘導し、まちづくりの効果を周辺に波及させるよう、優先的に事業化を図ります。

今後、先行実施地区において整備計画に基づく重点的なまちづくりを推進するにあたっては、関連事業の進捗や社会経済情勢等の変化に応じて、適宜、整備計画の改定を行います。また、先行実施地区以外の地区においても、ガイドラインに示したまちづくりの一層の具体化を推進するため、まちづくりの機運の高まりや合意形成の進展に応じて、段階的に追加の整備計画を策定します。



まちづくり波及効果
先行実施地区から優先的に事業化を図り、その効果を周辺に波及させるよう、段階的にまちづくりを行います。



(2) 土地利用の方針

先行実施地区では、鉄道駅を中心とした交通結節機能の強化と道路等の都市基盤整備や広場空間の整備を進めるとともに、地域の活力やにぎわいを生み出す機能集積を誘導し、大規模な土地利用転換とあわせた適切な高度利用の促進を図ります。自然・文化・歴史資源に恵まれた地域の個性を活かし、質の高い豊かな生活と就業の場として、商業・業務を中心としつつ、住宅なども含む複合的な機能が集積する都市中心拠点としてふさわしいにぎわいのある市街地の形成を図ります。また、風水害や地震災害に備えるために地域の防災性向上に資する市街地整備を誘導します。

- 都市中心拠点の交流を促進しにぎわいを創出する機能として、周辺の豊かなくらしを支える生活利便施設や余暇・飲食等の商業施設、文化施設等の立地を誘導します。
- 防災拠点であり区民サービス向上にも資する行政機能のほか、一層の拠点性向上を支える業務機能等を誘導し、区の中心拠点にふさわしい高次の都市機能の集積を図ります。
- 駅直近の地の利を活かした居住機能として、子育て世帯を中心に定住促進を図り、多世代交流によるコミュニティの活性化にも資する質の高い住宅の供給を誘導します。

(3) 都市基盤の整備方針

◆道路の整備方針

南北のまちをつなぎウォークアブル・ガーデンを支える道路ネットワークの形成を図るため、南北交流軸と東西交流軸を結ぶ「貫通道路」を整備します。

また、各街区へのアクセスを確保しつつ、地区内の回遊性向上を図るため、新庁舎の周囲に「補完道路」を整備します。

なお、貫通道路の整備後には、JR線と都電軌道間の既設道路（特別区道北65号）の交通を貫通道路へ転換し、歩行者・自転車専用化します。

◆公園・広場等の整備方針

ウォークアブル・ガーデンを中心に、飛鳥山公園、音無親水公園や石神井川等の自然環境と調和させながら、水とみどり豊かな居心地の良い空間として、公園・広場等を整備、誘導します。

中央口付近や新庁舎周辺等には歩行者が快適に滞在でき、憩いの空間にもなる広場機能の整備を誘導し、駅前の顔づくりを行います。

石神井川(都電脇)周辺は、これらの広場空間と調和した歩行者の空間として利活用します。また、地域の回遊性向上やにぎわいの創出に資する水辺沿い空地の誘導を図ります。

既存の王子駅前公園の機能は、現状を適切に評価分析し、新たに先行実施地区等で創出する公園・広場等へ転換します。

(4) 歩行者ネットワークの形成

先行実施地区では、駅前を中心に歩行者の回遊性を高めるネットワーク形成を図ります。

まちの骨格軸や駅前の各広場空間を結ぶよう「回遊にぎわいネットワーク」を形成し、効果的に緑を配置することにより、にぎわいと潤いをまち全体に波及するようなネットワーク形成を図ります。



※本図は歩行者ネットワーク等の互いの位置関係をイメージとして示したもので、特定の位置を示すものではありません。

有事の際の防災拠点となる新庁舎から高台にある飛鳥山公園までの間を防災・バリアフリーネットワークで結ぶことを検討します。

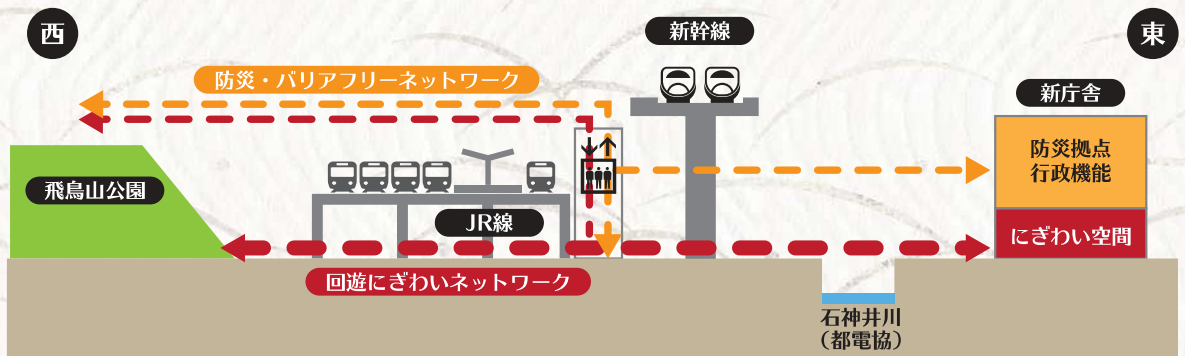
防災・バリアフリーネットワークが実現すれば、水害時の高台避難を円滑にするとともに、新庁舎の防災拠点機能維持にもつながります。

周辺の開発にあわせて、この防災・バリアフリーネットワークと接続することで、歩行者の回遊性向上にもつながることが期待できます。

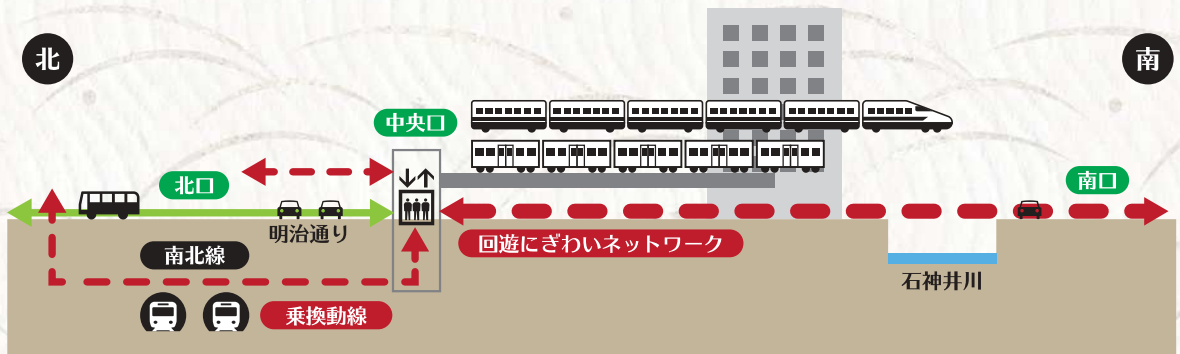
防災・バリアフリーネットワークの実現にあたっては、JR線、新幹線、東京メトロ南北線、都電、石神井川など駅周辺構造物との位置関係、整備手法や施工方法等いくつかの課題検証が必要になります。今後、このイメージを基に関係機関等と協議をすすめ、実現に向けて検討していきます。

歩行者ネットワーク断面イメージ

【東西断面イメージ】



【南北断面イメージ】



※本図は歩行者ネットワーク等の互いの位置関係をイメージとして示したもので、特定の位置を示すものではありません。

(1) 取組みの内容



※まちづくりにおける空間形成のイメージです。特定の場所を示すものではありません。

1 貫通道路の整備

関連する
プロジェクト 04

新庁舎の整備にあわせて、南北のまちをつなぎウォークアブル・ガーデンを支える道路ネットワークの形成を図るため、先行実施地区を貫通する道路を整備します。

貫通道路は、適切な官民連携のもと、安全・快適な歩行者空間を確保し、王子駅前のシンボルとなるような道路として整備します。

2 石神井川横断橋整備

関連する
プロジェクト 04

河川による市街地分断の改善を図るため、拠点形成エリア（新庁舎付近）と次世代住工複合エリア（堀船・栄町）をつなぐアクセス路として、歩行者・自転車をはじめ車両も通行できる石神井川横断橋を整備します。

3 南口広場の再整備

関連する
プロジェクト 08

南口広場は、キスアンドライドの自家用車利用等に対応する交通広場として、将来的なグリーンスローモビリティ/パーソナルモビリティの利用も考慮して再整備を行います。

4 中央口付近の広場機能確保

関連する
プロジェクト 01 03

王子駅前における中央口付近の新たな顔として、JR 王子駅と新庁舎との間に、区民や来街者等が滞留し交流できる歩行者系の広場機能を確保し、滞在快適性の向上を図ります。

5 バリアフリー乗換えルートの整備

関連する
プロジェクト 06

新たな都市機能が集積し多様な人が集まることとなる拠点形成エリアにおいて、公共交通の利便性を高めるため、周辺のまちづくりとあわせて、メトロ出入口の段差解消をはじめとするバリアフリー乗換えルートを整備します。

6 区道 65 号の歩行者専用化

関連する
プロジェクト 04

歩行者と自動車の交錯を解消し、歩行者の安全性向上と公共交通と歩行者のための快適な空間の拡充を図るため、貫通道路等の整備にあわせて JR 線と都電軌道間の道路（特別区道北 65 号）を歩行者・自転車専用化します。

堀船・栄町方面の歩行者ネットワークを維持しつつ、中央口付近の広場機能、都電の電停等と連続した、うるおいのある歩行者中心の空間を整備します。

7 駅周辺まちづくりに伴う JR 中央口の駅改良の検討

関連する
プロジェクト 04 06 13

駅西側の飛鳥山公園に新設する広場・エントランス空間と駅東側の広場空間をつなぐ歩行者の通路機能拡充にあわせて、JR 中央口の改良を検討します。

8 補完道路の整備

関連する
プロジェクト 04

新庁舎の整備にあわせて、駅周辺の各街区にアクセスするための補完道路を整備します。

補完道路沿いには、石神井川沿いの遊歩道と明治通りの間を通り抜けられる歩行者ネットワークを確保します。

9 駐輪場の確保

関連する
プロジェクト 05

新庁舎及びその周辺において、施設利用者以外の一般利用が可能な駐輪場を確保していきます。また、ウォークアブル・ガーデンの縁辺部に駐輪場の整備を検討します。

10 国立印刷局の囲障整備による見通しの改善

関連する
プロジェクト 04

溝田橋交差点付近の工場囲障に沿った歩道において、歩行者や自転車が安全・快適に通行できるよう、工場再編にあわせ囲障を整備し、見通しの改善を図ります。



※まちづくりにおける空間形成のイメージです。特定の場所を示すものではありません。

11 新庁舎低層部にぎわい空間の整備

関連する
プロジェクト 09

新庁舎の低層部に区の情報や魅力の発信と人々の交流促進につなげる展示・飲食・販売等の機能を導入したにぎわい空間を整備します。

12 駅前にぎわい拠点施設の誘導

関連する
プロジェクト 09

都市基盤整備とあわせ高度利用を図ることで、商業・業務・住宅なども含む複合的な機能を集積し、駅前の活力とにぎわいの創出を図ります。

13 多様な交流・にぎわい活動の展開

関連する
プロジェクト 09

広場等の公共的空間における区民や来街者等の交流を促進し、まちのにぎわいを創出するため、多様な交流・にぎわい活動の展開を推進します。

14 工場機能の再編に伴う博物館の再整備

関連する
プロジェクト 09

国立印刷局による工場機能の再編にあわせて、現在は明治通り沿いにある「お札と切手の博物館」（文化施設）は、補完道路沿いへ移転・再整備します。



※まちづくりにおける空間形成のイメージです。特定の場所を示すものではありません。

15 飛鳥山公園の広場・エントランス空間整備

関連する
プロジェクト 01 03 08

王子駅周辺のシンボルである飛鳥山公園の魅力向上、区民・来街者等の利用促進、駅周辺や周辺施設からの回遊性や、滞在快適性の向上等を図るため、JR 王子駅中央口に隣接する飛鳥山公園の未開設区域において、公園の山頂へといざなう広場・エントランス空間を整備します。

16 石神井川（都電脇）周辺を歩行者の空間として利活用

関連する
プロジェクト 04 14

リバーサイドスクエア事業による河川と公園との一体的な整備の経緯や、現在の河川としての位置づけを踏まえ、王子駅前における中央口付近の新たな顔として、広場空間と調和した身近に水辺を感じられる、みどり豊かな歩行者の空間として利活用します。

17 石神井川遊歩道の再整備

関連する
プロジェクト 14

潤いを感じられる歩行者ネットワークを形成するため、沿川のまちづくりと連携して石神井川遊歩道を再整備します。



※まちづくりにおける空間形成のイメージです。特定の場所を示すものではありません。

18 王子駅前公園の機能再編

関連する
プロジェクト 08

貫通道路整備に伴う交差点改良にあわせて、既存の王子駅前公園の機能は、現状を適切に評価分析し、中央口付近の広場機能、飛鳥山公園の拡張整備、新庁舎により整備されるオープンスペース等との間で適正配置を図り、機能を再編します。

19 まちなかの緑化

関連する
プロジェクト 14

街路・河川等の公共空間をはじめ、新庁舎・国立印刷局・民間開発街区の敷地も含め地区内の緑化をすすめます。特に、ウォークアブル・ガーデン内においてはみどり豊かな居心地の良い空間形成に寄与する広場や沿道などの積極的な緑化を誘導し、飛鳥山等の地域資源をつなぐ緑のネットワークを形成します。

20 飛鳥山を中心とした景観形成

関連する
プロジェクト 15

駅前的高度利用と景観形成の両立を図り、飛鳥山上空への広がりや公園内からの眺望景観の保全を行うなど、飛鳥山が引き立ち広がりのある景観づくりを行います。



※まちづくりにおける空間形成のイメージです。特定の場所を示すものではありません。

21 回遊と高台避難に資する東西通路整備の検討 関連するプロジェクト 04 13 17

崖線による分断を克服し、歩行者の回遊性を向上する東西通路の整備を検討します。駅東側の低地は荒川の氾濫等による浸水被害の危険があることから、東西通路は、JR線東側から飛鳥山公園のある西側の高台への避難経路を確保する災害時の高台避難ルートへの役割も果たします。

22 防災拠点としての新庁舎の整備 関連するプロジェクト 18

新庁舎の建設にあたり、災害対策本部機能を強化し、関係機関や団体と連携、協働を行います。

23 新庁舎と連携した災害対応拠点の形成 関連するプロジェクト 18

新庁舎の周辺で地域の防災性の向上を図るため、地域防災活動の支援や帰宅困難者対策の充実等、新庁舎の防災拠点機能と連携した災害対応拠点の形成を誘導します。

24 石神井川の水質改善 関連するプロジェクト 14

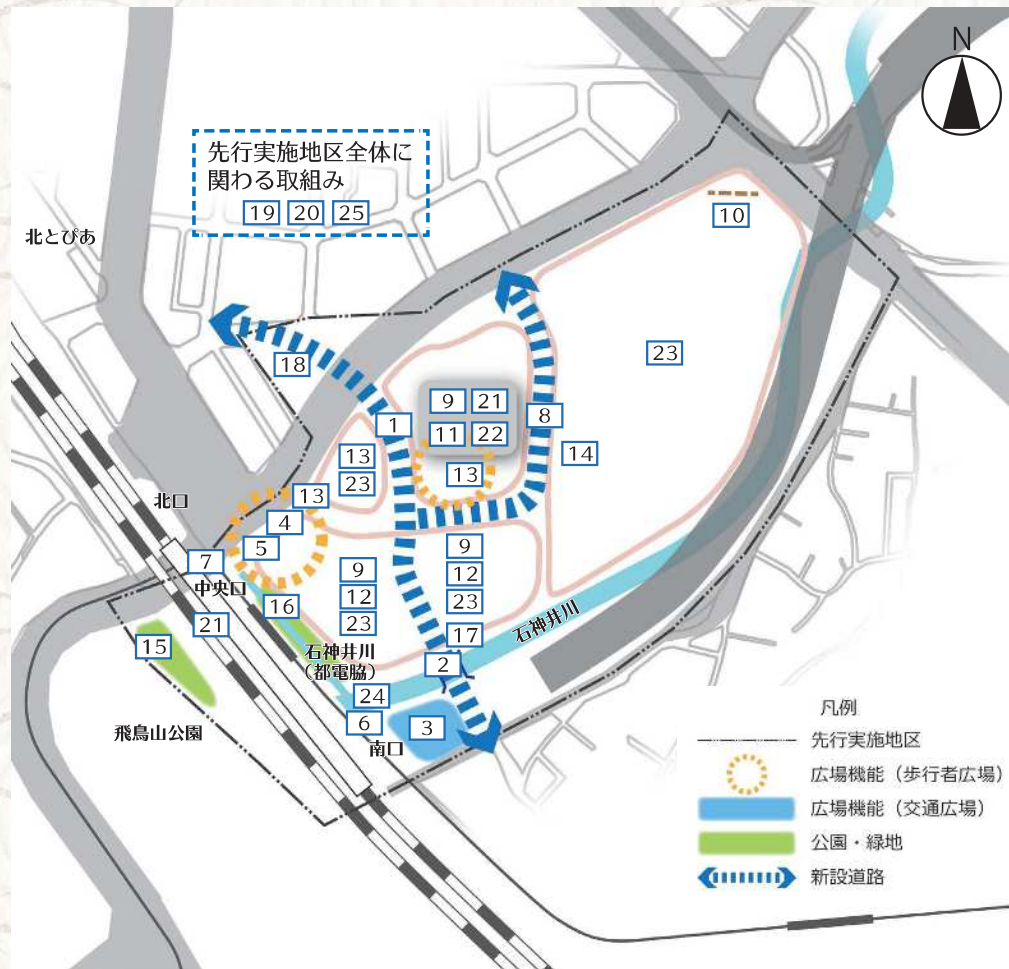
石神井川の水環境を改善するため、下水道の合流改善、しゅんせつ工事、水流発生装置の稼働などこれまで実施してきた対策を継続するとともに、効果的な対策を検討・実施します。

25 脱炭素まちづくりの促進 関連するプロジェクト 05 07 14 19

公共交通の利用促進や自転車利用環境の整備、大規模な土地利用転換や再開発等に伴う省エネ・創エネに対応した建築計画など、地区全体で脱炭素まちづくりを促進します。

(2) 取組みの位置

▼重点的な取組みの位置イメージ



※取組の位置等、今後、関係者間で調整を行いながら検討を進めます。

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| 1 貫通道路の整備 | 15 飛鳥山公園の広場・エントランス空間整備 |
| 2 石神井川横断橋整備 | 16 石神井川(都電脇)周辺を歩行者の空間として利活用 |
| 3 南口広場の再整備 | 17 石神井川遊歩道の再整備 |
| 4 中央口付近の広場機能確保 | 18 王子駅前公園の機能再編 |
| 5 バリアフリー乗換えルートの整備 | 19 まちなかの緑化 |
| 6 区道65号の歩行者専用化 | 20 飛鳥山を中心とした景観形成 |
| 7 駅周辺まちづくりに伴うJR中央口の駅改良の検討 | 21 回遊と高台避難に資する東西通路整備の検討 |
| 8 補完道路の整備 | 22 防災拠点としての新庁舎の整備 |
| 9 駐輪場の確保 | 23 新庁舎と連携した災害対応拠点の形成 |
| 10 国立印刷局の囲障整備による見通しの改善 | 24 石神井川の水質改善 |
| 11 新庁舎低層部にぎわい空間の整備 | 25 脱炭素まちづくりの促進 |
| 12 駅前にぎわい拠点施設の誘導 | |
| 13 多様な交流・にぎわい活動の展開 | |
| 14 工場機能の再編に伴う博物館の再整備 | |

(3) 取組みのスケジュール

概ね 15 年間での重点的な取組み内容を、着実に進めていく取組施策、開発等に応じて誘導していく誘導施策、必要な検証を行ったうえで実現を目指していく検討事項の3つに分け、段階的な事業展開を図っていきます。

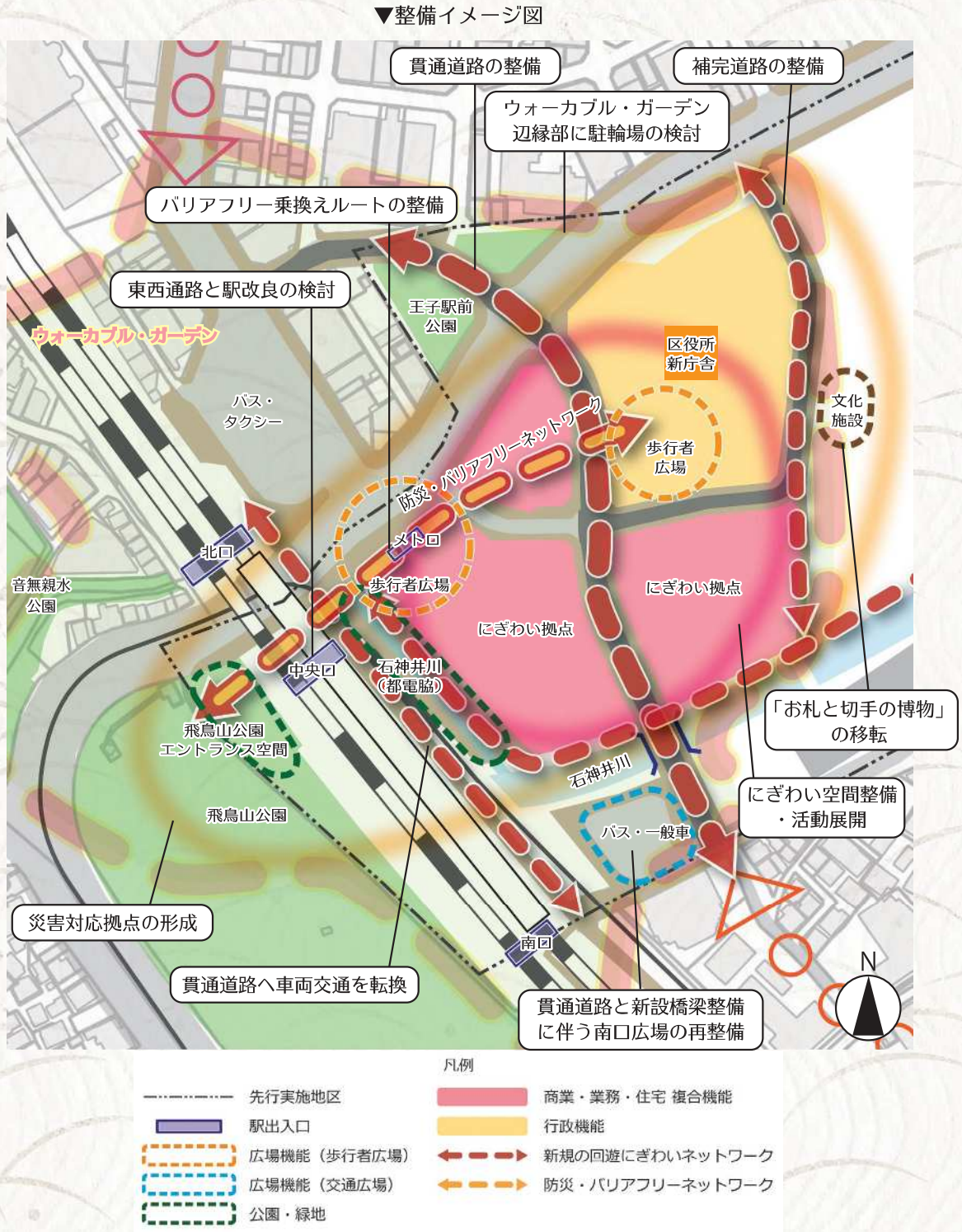


新庁舎の整備完了

重点的な取組み		< 短期 >	< 中期 >
1 貫通道路の整備	04		
2 石神井川横断橋整備	04		
3 南口広場の再整備	08		
4 中央口付近の広場機能確保	01 03		
5 バリアフリー乗換えルート of 整備	06		
6 区道 65 号の歩行者専用化	04		
7 駅周辺まちづくりに伴う JR 中央口の駅改良の検討	04 06 13		
8 補完道路の整備	04		
9 駐輪場の確保	05		
10 国立印刷局の囲障整備による見通しの改善	04		
11 新庁舎低層部にぎわい空間の整備	09		
12 駅前にぎわい拠点施設の誘導	09		
13 多様な交流・にぎわい活動の展開	09		
14 工場機能の再編に伴う博物館の再整備	09		
15 飛鳥山公園の広場・エントランス空間整備	01 03 08		
16 石神井川（都電脇）周辺を歩行者の空間として利活用	04 14		
17 石神井川遊歩道の再整備	14		
18 王子駅前公園の機能再編	08		
19 まちなかの緑化	14		
20 飛鳥山を中心とした景観形成	15		
21 回遊と高台避難に資する東西通路整備の検討	04 13 17		
22 防災拠点としての新庁舎の整備	18		
23 新庁舎と連携した災害対応拠点の形成	18		
24 石神井川の水質改善	14		
25 脱炭素まちづくりの促進	05 07 14 19		

(4) 整備イメージ図

先行実施地区（駅前部分）におけるまちづくりの方針と主な取組みをイメージで示します。



※本図は実際に整備される施設やその位置を明示するものではありません。